

# プログラミング技能検定試験

アルゴリズム・プログラミング言語(JavaScript)の知識を基に動的なWebページを作成するための基礎的なプログラミング能力を問う試験です。

## ◆検定試験のねらい

アルゴリズム・プログラミング言語 (JavaScript) の知識や技術を基盤とし、情報に関する課題を発見・解決する力を身に付けることを目的として実施。

JavaScriptとHTMLを使って論理的思考を身に付けることができます。



## ◆試験実施日(年4回)

①7月第1日曜日 ②10月第2日曜日 ③12月第1日曜日 ④2月第3日曜日

●試験日は届出により前後10日間の移動が可能です。

## ◆試験会場

本協会指定会場

●申し込みのあった各大学、各学校および教室が試験会場校となります。ただし、原則として受験者が10名以上であることを要します。

## ◆一般受験料(税込)

1級	2級	3級	4級
3,300円	2,800円	2,300円	1,800円

※本協会が認可した試験会場校では、特定受験料が適用されます。

## ◆試験基準

◎試験時間内に処理条件のとおり処理が完成し、送信されたものを100点満点とし、減点基準により採点し、80点以上の答案を合格とする。

◎出題基準・試験時間は下記の表のとおりとする。

級	出題内容	試験時間
4級	順次構造・単純な分岐構造の流れを理解し、正しく動作させる。 順次構造 分岐構造 (if-if/else)	30分
	○表示する文字の入力 ○算術演算子(+・-・*・/)・文字列の結合(+) ○代入(=) ○比較演算子(==・<=>=>・<>) ○変数 ○関数の作成(引数なし) ○型(数値・"文字列"・'文字列')	
3級	順次・分岐・反復構造の流れを理解してその構造を組み立て、正しく動作させる。 順次構造 分岐構造 (if-if/else) 反復構造 (for-while)	30分
	○4級基準を含む ○文字列の追加(+=) ○型の変換(関数使用) ○インクリメント(++):デクリメント(--)	
2級	入出力の仕組み、順次・分岐・反復構造の流れを理解し、適切な構文を選択して正しく動作させる。 順次構造 分岐構造 (if-if/else-else-if-switch) 反復構造 (for-while)	30分
	○3級基準を含む ○複合代入演算子(+=・-=など) ○関数の作成(引数あり)	
1級	各構造を組み合わせたアルゴリズム、データ構造や戻り値を理解し、与えられた情報を基に正しく動作させる。 順次構造 分岐構造 (if-if/else-else-if-switch・複数条件) 反復構造 (for-while)	30分
	○2級基準を含む ○配列・添字 ○関数の作成(複数)	

☆問題に使用している会社、組織、製品、人物、キャラクター、データなどの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などは一切関係ありません。

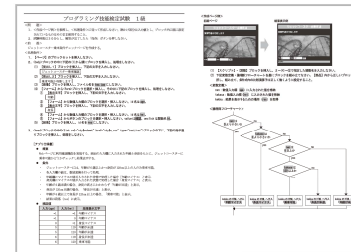
問題文を参照し、オンラインアプリケーション(本協会試験用サイト)を使用して処理条件どおりにWebページの作成・プログラミングを行います。

オンラインアプリケーション  
(本協会試験用サイト)へアクセス  
受験用ID・パスワードでログイン

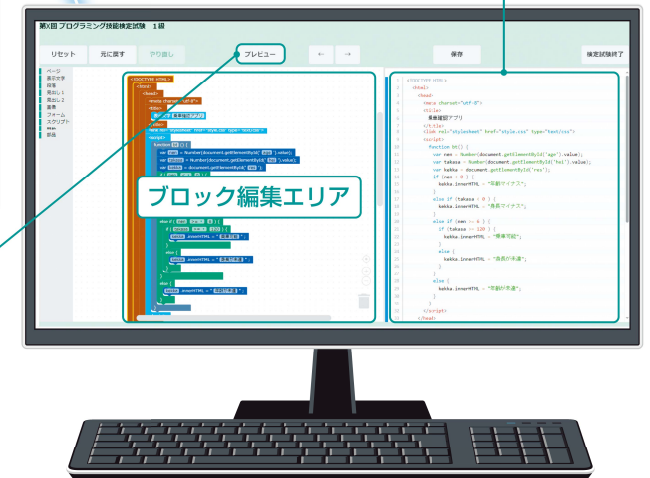
- オンライン環境必須
- アプリのインストールは不要
- 試験用サイトへアクセスするだけ  
(受験用ID・パスワードが必要です)

試験問題

オンラインアプリケーション



ソース表示エリア



プレビュー



ブロック編集エリアで操作した内容が、ソース表示エリアに表示されます  
実際に「プレビュー」で確認

結果データをそのまま提出

試験監督は試験状況・全受験者のデータを確認  
全受験者の試験が終了後、一括送信